

平成 25 年度事務事業評価調書

事業コード	02010103	区分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	
事務事業名	保健センター管理運営事業	担当部署名	健康福祉課健康グループ		
		作成責任者職氏名	課長 尾谷 義彦	内線	340
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)		
	02健康・福祉	01健康増進・疾病予防の推進	01健康増進の推進		
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成9年度 ~ 年度)		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等	
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	地域保健法、千早赤阪村立保健センター条例、千早赤阪村立保健センター条例施行規則 <input type="checkbox"/> 義務付け <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>乳幼児健診やがん検診等、各種保健事業を実施する拠点として保健センターを設置し、施設の円滑な管理運営を図る。</p> <p>②内容</p> <p>保健センター施設の維持及び管理</p>	<p>村民等</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>各保健事業が実施できる。</p>	<p>施設・設備は10数年経過しており、故障による補修・修繕が頻繁になってきている。</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	23 年度 実績	24 年度		25 年度 事業費(見込)	26 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	5,022	4,850	4,194	4,448	4,448			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
一般財源	5,022	4,850	4,194	4,448	4,448			
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,109	1,109	1,109	1,109	1,109		
総コスト費(千円)(A+C)	6,131	5,959	5,303	5,557	5,557			
人口あたりコスト(円)	1,012	983	875	917	917			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	24 年度			25 年度 目標値	26 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標							
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 0% / 0 = #DIV/0! (A)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	村の健康づくりの拠点として認知されている。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	適正管理により各種保健事業が実施できる。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	健(検)診の常設施設でないため、その都度のセッティングに時間を要する。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	保健センターまでのアクセスが悪い地区があるが、必要に応じ送迎サービスを行っている事業もある。

○事務事業評価値 (①~④の合計/16)	14 / 16	88%	(B)
-------------------------	---------	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
#DIV/0!	88%	#DIV/0!	b
<small>a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)</small>			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
保健センター管理運営については、村民の保健事業実施の拠点であり、引き続き実施すべきと考える。ただし、施設・設備は、建築後15年経過しており、自動火災報知機の誤作動等、経年劣化に伴う補修・修繕が頻繁にあり計画的な点検補修が必要。	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
保健センター管理運営事業について、保健センターは村民の保健事業の拠点であり、また防災上の避難所の役割も担っている。事業としては継続すべきと考えるが、施設の老朽化における補修など維持管理経費が今後も増加することが予測される中、経費削減とともに必要な補修など計画的な対応が必要と考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
/	/ A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
保健センター管理運営事業について、保健センターは村民の保健事業の拠点であり、また防災上の避難所の役割も担っている。事業としては継続すべきと考えるが、施設の老朽化における補修など維持管理経費が今後も増加することが予測される中、経費削減とともに必要な補修など計画的な対応が必要と考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止